

Motetten

ドイツ モテットの系譜

H.Schütz

J.S.Bach

F.Mendelssohn

M.Reger

Singakademie Tokyo

ジングアカデミー東京 第8回演奏会

指揮

大島 博

オルガン

今井 奈緒子

コントラバス

櫻井 茂

合唱

ジングアカデミー東京

2016. **5.15** Sun.

開演 14:30 開場 14:00

上野学園 石橋メモリアルホール

前売券 ¥3,000 / 当日券 ¥3,500 / 学生券 ¥2,500

お問い合わせ TEL/FAX 03(3351)0705 金子
singakademietokyo@gmail.com

Programm

H. Schütz 「Ad dominum cum tribularer SWV72」
H. Schütz 「Cantate Domino canticum novum SWV81」
J.S.Bach 「Jesu, meine Freude」 BWV227
F.Mendelssohn 「3 Psalmen」 op.78
M.Rager 「O Tod, wie bitter bist Du」 Op.110-3

ほか

<ドイツ、モテットの系譜>

「モテット」の定義は時代によっても地域によっても異なり、なかなか簡単には言い表せないのですが、今回は、ア・カペラ、もしくは通奏低音のみの伴奏で歌われる合唱曲とご理解ください。地域もドイツに限定しました。

H. シュッツは、時代の最先端を走っていたヴェネチアに2度も留学し、新しい音楽技法を完全に身に着けました。それをドイツ語のテキストにも応用して「ドイツ音楽の父」と呼ばれることとなりますが、今回はラテン語の歌詞を持つ『カンツィオネス・サクレ』を取り上げます。

シュッツの100年後に生まれたJ.S. バッハのモテットからは、『イエスよ、わが喜びよ』を選びました。全体にシンメトリカルな構造を持ち、声部の選択も多彩で、さながら合唱曲のカatalogの観がある大作です。そして、ロマン派からは、F. メンデルスゾーンがベルリンの大聖堂のために書いた『三つの詩篇』op.78。刻々と変化する曲想、微妙に色合いを変える和声は、イギリス音楽の影響をも感じさせます。

20世紀の作品からは、M. レーガーの『おお死よ、おまえはいかに苦いものか』op.110,3を演奏します。オルガンの名手でもあった彼は、鋭い不協和音を挟み込みながら「死の苦さ」を繰り返し印象付け、その後に現れる「救いとしての死」との対比を巧みに演出します。

17世紀から20世紀までの300年を、時代を象徴する作品によって辿る試みです。それぞれの作品に込められた作曲家の思いと、全体を通して見えてくるドイツの「モテット」の伝統を感じ取って頂けるような演奏が出来ればと願っております。

大島 博

大島 博 (指揮)

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。

渡辺 高之助、高 文二、原田 茂生、中山 伸一の各氏に師事。86年、同大学院在学中にミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年 D. フィッシャー＝ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。

宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの演奏者として定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96年からは<ドイツ・リートのたのしみ>と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としてもその活動の幅を広げている。

立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学非常勤講師。

今井 奈緒子 (オルガン)

東京藝術大学、ドイツ・フライブルグ音楽大学オルガン科を経て1985年ドイツ・ゲオルグ・ベーム国際オルガンコンクール、88年ベルギー・ブルージュ国際バッハ・コンクールに入賞。日本各地におけるソロ活動のほか、経験豊かな通奏低音・アンサンブル奏者として共演者から信頼を得ている。ソロCDに「シャイトのアラマンダ」「バッハ：クラヴィーア練習曲集第3部」「スウェーデン7つのオルガン」「バッハのコラールを歌う」(付属CD)等。バッハ・コレギウム・ジャパンの教会カンタータシリーズほか国内外での公演、CD録音に数多く参加した。現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、同宗教育音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会、西片町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

櫻井 茂 (ヴィオラ・ダ・ガンバ、コントラバス)

学習院大学および東京芸術大学卒業。コントラバスを江口朝彦、ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成、ローレンス・ドレイフスの各氏に師事。芸大バッハ・カンタータ・クラブにおいて小林道夫氏の薫陶を受ける。独奏者として国内各地、ヨーロッパ、アメリカ、韓国等で活動。ドレイフス主宰のコンソート「PHANTASM」には創設以来度々客演、ヴィオローネ奏者としてはバッハ・コレギウム・ジャパン等の古楽合奏団に参加。東京芸術大学及び高知大学講師を経て、上野学園大学准教授。延世大学(ソウル)音楽研究所古楽専門課程特別招聘教授。

ジングアカデミー東京 (合唱)

大島 博の呼びかけにより、19世紀ドイツで隆盛を誇った合唱音楽の研究、演奏運動に範を求め、さらに遠く「アカデメイア (快樂)」の原義に戻って、「歌う快樂 (Singakademie)」を追求しようと2009年発足。各人が自立した音楽家として作品に取り組み、自由な雰囲気の中で有機的なつながりを持つ集合体として、完成度の高い音楽を作り上げることを目指しています。これまでにH. シュッツ「マタイ受難曲」、F. リスト「十字架への道」、H. ディストラ「クリスマスの物語」などを演奏してきましたが、今後も比較的演奏される機会の少ない佳曲に取り組んでいく予定です。

会場アクセス

電車・地下鉄

JR各線「上野駅」入谷改札より入谷口から徒歩8分
東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1番出口より徒歩8分

バス

台東区循環バス<東西めぐりん (浅草方面)>
「上野駅・上野公園 (東京文化会館前)」より乗車、
「上野学園」にて降車、徒歩0分、行きのみ。
(めぐりん: 所要時間10分、15分間隔で運行)

住所: 上野学園 石橋メモリアルホール
〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

※駐車場はございません。お越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

